

第194号 発行日 平成25年3月4日

合格通信

今
月
の
ま
ま

教育の危機は教育の危機ではなく、
生命の危機なのだ。

— シャルル・ペギー —
(フランス詩人)

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせいただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。

子どものタイプ別対処法⑪

保護者面談をしているとよく「何でうちの子はやる気を出してくれないのだろう」そう言うてくる親はとても多いのです。けれども子どもはひとりひとり性格が違いますし、これまで育ってきた環境も違います。やる気が出せない理由は様々です。なかなか勉強に入っていない子どもたちには、どのような悩みがあり、どんな問題があるのでしょうか。



「わからない問題に直面した時の解決策」

参考書の使い方

数学であれば、教科書やワークの問題でわからない問題があったときに、参考書から類似した問題を探してその解答、解説を読んで解き方を理解するように使います。教科書は学校の先生が説明するため、詳しい解法が載っていません。またワークや問題集には詳しい解説がついていればそれで解決できる場合がありますが、そうでない場合は参考書を利用するようになります。

英語は文法の説明などは学校の先生が丁寧に説明してくれますが、聞き逃したり、ノートを取り損ねたりすると、後で勉強するのが大変です。ですから、家で英語の文法などを勉強するには参考書が必要になります。不定詞の使い方や3年で習う間接疑問などの用法が分からなければ参考書で理解を深める、というように使います。

英語、数学以外では理科は1分野の計算問題がわからないとき、あると便利です。国語では国語文法を調べるのにあると便利です。

参考書の選び方

参考書は特別な目的がないかぎり、あまり高度なものではなく、標準的な学研の「ニューコース」とそれに準ずるようなタイプのものがお勧めです。移行措置が含まれている最新のものを購入しましょう。ただし、これらの中には章末問題にハイレベルな「私立高校入試問題」が含まれていることがあります。こうした問題は教科書を超えた問題で公立高校入試に出題されないレベルですから、解いてはいけません。

～次回に続く